



平成27年度第2回街道ウォーク開催報告

主催 みえ歴史街道構想四日市地域推進協議会
三重県四日市地域防災総合事務所
協賛 四日市市・菰野町・朝日町・川越町

万葉ゆかりの志氏神社から東海道を歩く

平成28年2月20日（土）9時から12時30分開催

阿倉川駅→羽津城址→志氏神社→光明寺→かわらづの松→
ギャラリー藤総（まちかど博物館）→霞ヶ浦駅（解散）

雨天となりましたが、42名の参加者にお集まりいただきました。近鉄名古屋線の阿倉川駅に8時30分より集合、みえ歴史街道構想四日市地域推進協議会委員の解説を聞きながら、羽津地区の史跡・寺社等を見学しました。

志氏（しで）神社では宮司さんにご解説いただき、ギャラリー藤総（まちかど博物館）では工場長のご案内で工場内を見学しました。約3.5kmをウォークし、12時30分ごろ霞ヶ浦駅で解散しました。

阿倉川駅集合 受付・会長挨拶の後、ウォークスタート



雨の中、42名の参加者に
お集まりいただきました。
ありがとうございました。



羽津城址



城跡中央部は、昭和初期に伊勢電鉄（現近鉄名古屋線）が南北に縦貫し、後、城山保育園等が築かれたため、旧状をとどめる姿がほとんどありませんが、城山公園に石碑が立ち、本丸跡の土壘と内堀の一部が残り、かつての城館の面影をわずかに残していました。

羽津城は、15世紀後半、この地を治める田原盛宗（たはらもりむね）によって築かれ、盛宗から近宗まで六代の主の居城となりました。



志氏神社鳥居前

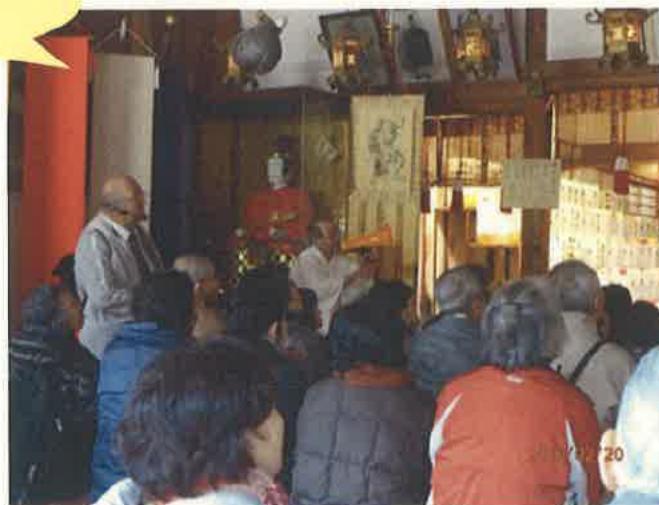


延喜式内社で氣吹戸主神(いぶきどぬしのかみ)を主神として祀り、伊邪那岐命(いざなぎのみこと)と伊邪那美命(いざなみのみこと)を配祀しています。

志氏神社拝殿



拝殿にて宮司さんに解説していただきました。



成和殿では、四日市市の指定有形文化財の「陶製狛犬」、「志氏神社古墳出土品」を宮司さんの解説で見学することができました。

志氏神社成和殿



志氏神社 万葉歌碑

天平12年(740)、聖武天皇の東国巡幸の際に、随臣の丹比屋主真人(たじひのやぬしのまひと)が当地の旧地名四泥の埼を詠みこんだ歌が万葉集に収録されています。この歌を刻んだ、万葉歌碑を見学しました。

おく しの しで さき ゆう し
「後れにし 人を偲はく 四泥の埼 木綿取り垂でて さきくとぞ念う」

当地で、奈良の都に残した妻を恋しく思い、志氏神社の神さまにお供えのをして妻の無事を祈って詠んだとされる歌です。



志氏神社から光明寺へ向かいます

光明寺



真言宗の寺院として大矢知にありましたが、寛正元年(1460)浄土真宗高田派の開祖真慧(しんね)上人が来られて三重郡、朝明郡、鈴鹿郡等を教化された際に浄土真宗高田派に転じ、天正年間(1573~92)に浄土真宗本願寺派に転じました。

本堂は安政6年(1859)と考えられ、山門も鐘楼も同時期の建立と推定されます。

本堂にあがらせていただき、ゆっくり解説を聞くことができました。



東海道解説

雨のため、かわらづの松、東海道の解説を光明寺で聞いていただきました。



まちかど博物館 ギャラリー藤総

(藤総製陶所)

東海道に面した小さな和風陶芸ギャラリーで、「お茶を愉しむ」絞りだし至高急須の窯元として、四日市地域まちかど博物館に登録されています。「おいしいお茶を愉しみたい」という想いから、試行錯誤して完成した「至高急須」、洗練されたデザインで三重グッドデザインに選ばれた「ひとしづく」など、こだわりの商品を紹介していただきました。また、工場長のご案内で工場内を見学。普段見ることのできない、四日市萬古焼の製作工程を見学でき、楽しませていただきました。

ギャラリー



ギャラリーを見学。藤総製陶所が紹介されたテレビ番組を見せていただき、その後、作品を手に取って見ることができました。

工場見学



工場長のご案内で工場内を見学。
商品が出来上がる工程を見学でき
ました。



霞ヶ浦駅 解散

ご参加いただきました皆さん、解説にご協力いただいた志氏神社宮司さん、藤総製陶所のみなさん、ありがとうございました